

2020年度防災・日本再生シンポジウム

全世代型防災教育を通じた人材育成と地域防災力の強化



日時：11月24日（火） 13:10～16:00 場所：愛媛大学南加記念ホール（松山市文京町3番）

定員：100名（要事前予約）

参加費：無料

平成30年7月豪雨災害、令和元年台風19号災害、令和2年7月豪雨災害と地球温暖化の進展に伴って毎年のように甚大な豪雨災害が発生しています。また千年に一度とも言われる地震の多発期でもあり、この10年だけでも東日本大震災、熊本地震、大阪北部地震、北海道胆振東部地震が発生しています。四国も豪雨災害の多発地であり、また南海トラフ巨大地震の発生も現実味を帯びてきています。本シンポジウムでは、新型コロナウイルス対応も併せて自然災害にいかに備えるのか、ハード、ソフト両面からの対応を考えてみたいと思います。多くの方々のご参加をお待ちしております。

[次第]

13:10～13:15 開会挨拶 愛媛大学防災情報研究センター長 森脇 亮

13:15～13:55 講演

1. 近年の自然災害の特徴と総合的防災対策

愛媛大学特命教授 矢田部 龍一

2. 全世代型防災教育の推進による地域防災力の強化

愛媛大学特定教授 中尾 順子

13:55～16:05 パネルディスカッション「大規模自然災害に備える事前防災・迅速な復興」 座長：矢田部 龍一

その1 「平成30年豪雨災害の復旧・復興への取組み」

[パ 初対] 久保 陽生（愛媛県建設業協会会長）、大田 信介（貝吹土建(有)代表取締役/西予市消防団長）

・迅速な復旧・復興に向けた建設業界の取組み

西村 久仁夫（元宇和島市立吉田中学校長）

・大規模災害時の学校の避難所としての役割

森 かおり（学生防災リーダークラブ）

・学生防災リーダーのボランティア活動

山崎 裕史（松山市役所技監）

・大規模災害からの復旧・復興に向けた行政の取組み

その2 「危機管理としての新型コロナへの対応」

[パ 初対] 山内 浩（愛媛県建設技術支援センター事務局長）

・7月豪雨と新型コロナ対応への建設BCPの効果

中矢 斉（松山市商工会議所事務局長）

・松山商工会の新型コロナへの対応と企業BCP策定の現状

藤原 清人（愛媛県立松山工業高校 教諭）

・学校防災教育がコロナ対応に果たした役割

その3 「事前復興計画と防災教育による大規模自然災害への備え」

[パ 初対] 山本 浩司（愛媛大学特定教授）

・南海トラフ巨大地震に対する事前復興教育の必要性

芝 大輔（松山市防災・危機管理課 主幹）

・全国一位の防災士を擁する松山市の地域防災への取組み

蔭原 政徳（高浜地区自主防災会会長）

・他市町の範となる自主防災会の取組み事例

中尾 順子（愛媛大学特定教授）

・自律的・継続的かつ切れ目のない防災教育が地域発展の原動力

16:05～16:10 閉会挨拶 松山市防災総合政策部危機管理担当部長 牟禮 里義

[主催] 国立大学法人愛媛大学防災情報研究センター [共催] 一般社団法人国立大学協会、一般社団法人四国クリエイティブ協会

[新型コロナウイルス対策]

入口での検温、手指消毒、マスク着用、参加者間の距離確保等、感染対策にご協力ください。

発熱、咳症状等、体調が優れない場合及び感染拡大地域を訪問した場合は、参加をご遠慮ください。

なお、愛媛県内の感染拡大状況によっては、開催を中止する場合があります。

[その他]

・学内の駐車場は利用できません。公共交通機関又は近隣の駐車場をご利用ください。

・本シンポジウムは、建設コンサルタンツ協会のCPDの単位申請を行う予定です。単位認定をご希望の方は、申込み時にご連絡ください。後日、受講証明書等を送付いたします。

[申込み・お問合せ]

愛媛大学防災情報研究センター(TEL/FAX: 089-927-8141 Mail: nakajima@cee.ehime-u.ac.jp)

◎ 氏名、所属、連絡先（電話番号、Mailアドレス）を記入の上、FAX又はMailでお申込みください。

◎ 〆切 11月17日（火）（但し、定員に達し次第、募集を終了いたします）